

イエスは神なのか（2/4）

:

明:イエスが神ではないことを 明するバイブルのくだりを します（第2部）。

目:[事比 宗教イエス キリスト](#)

より: IslamReligion.com

日18 Oct 2010

集日 18 Oct 2010

7. バイブルは、イエスの弟子たちが彼を神とは信じていなかったことを述べまています。



バイブルの使徒行 では、イエス（彼に神の慈悲と祝福あれ）が天に召された の彼の弟子たちによる30年 以上に渡る活 の が されています。この期 中、彼らは一度たりともイエスを神として言及しなかったのです。例えばペテロは11人の弟子たちと共に立ち上がり、 に向けこのように いています：

使徒行 2: 22

“イスラエルの民よ。今わたしの ることを きなさい。あなたがたがよく知っているとおり、ナザレのイエスは、神が彼をとおして、あなたがたの中で行われた数々の力あるわざと奇 とするしとにより、神から遣わされた人 であることを、あなたがたに示されたかたであった。”

ペテロにとり、イエスは神のしもべだったのです（マタイ 12: 18における ）：

使徒行 3: 13

“アブラハム、イサク、ヤコブの神、すなわち、私たちの父祖の神は、そのしもべイエスに 光をお与えになりました。”

使徒行 3: 26 “神は、そのしもべをお げになり ”

威による 立に直面した 、ペテロは言いました：

使徒行 -5: 29-30

“人ではなく神に うべきです！私たちの父祖の神はイエスをお げになったのです ”

弟子たちはイエスに命じられた通りに（ルカ11: 2）、神へと祈り、イエスを神のしもべであると なしていたのです。

使徒行 4: 24

“ 人々はみな、心を一つにして、神に向かい、声を上げて言った。「至高なる主よ。あなたは天と地と海とその中のすべてのものを造られた御方です。」”

使徒行 4: 27 “ あなたが油を注がれた、あなたの なるしもべイエスに ”

使徒行 4: 30 “ あなたの なるしもべイエスの ”

これはクルア ンによって述べられるイエスと全く同じなのです：

クルア ン19: 30 “ に、私は神のしもべです。”

8. バイブルはイエスが ばれた者、 を受けた者、そして神のしもべであったと述べます。

マタイ12: 18

“これぞ、わたしの んだわたしのしもべ、わたしの心にかなう、わたしの する者。”

イエスは神のしもべであったため、彼が神であるということは有り得ません。

9. バイブルは、イエスが自分ひとりでは何も出来なかったことを述べています。

ヨハネ5: 19

“子は、父のすることを て行なう以外には、自分からは何事も行なうことが出来ません。父がすることは、子もそれを て同 に行なうのです。”

ヨハネ5: 30 “私は、自分からは何事も行うことが出来ません。”

イエスは彼自身が神と同等であるとは なしておらず、それどころか自分自身で何かを出来るということさえ主 しなかったのです。

10. またバイブルは神がイエスを通して奇 を起こしたのであり、イエス自身には能力の制限があると述べています:

マタイ9: 8

“しかし群 はそれを ると恐怖し、このような 威を人にお与えになった神を えた。”

使徒行 2: 22

“神が彼をとおして、あなたがたの中で行われた数々の力あるわざと奇 とするしにより、神から遣わされた人 であることを、あなたがたに示されたのである。”

使徒行 10: 38

“ 彼は、神がともにおられたので、巡り いて善行し、また 魔に支配されているすべての者を されました。”

もしもキリストが神だったのであれば、バイブルは神に言及することなく、 にイエスが自身で奇 を行なったと述べるはずです。神が奇 を起こす力を授けていたという事 は、神がイエスよりも 大であることを 明します。

また、イエスは奇の行ないに しても制限されていました。ある イエスが盲人を そうとした 、一度目の みではその人物は されず、イエスが二度目の みをしたことが知られています（マルコ8： 22 26）。またある には、不治の出血に まされていた女性が、彼の背から近づいてその外套に触れると、彼女は即座に されましたが、イエスは触れたのが だったのかを知りませんでした：

マルコ5： 30

“イエスも、すぐに、自分のうちから力が外に出て行ったことについて、群の中を振り向いて、「だれがわたしの衣服にさわったのですか？」と言われた。”

マルコ6： 5

“それで、そこでは何一つ奇を行なうことができず、少数の病人に手を置いて すだけであった。”

そのような制限のある人物が神であるということは、明らかに不可能です。奇の力は、イエスの内にあるものではなかったのです。

11. またバイブルはイエスが弱ったとき、天使たちが彼を助けたと述べます。しかしながら神は手助けを必要としません。

ルカ22： 43

“御使いが天からイエスに われて、（ゲッセマネの花 において）イエスを力づけた。”

マルコ4： 11

“それで 魔は彼から れて行った。すると よ、御使いたちが近づいて来て彼に仕えた。”

マルコ1： 13

“イエスは四十日 荒野にいて、サタンの 惑を受けられた。野 とともにおられたが、御使いたちがイエスに仕えていた。”

人は手助けを受ける必要がありますが、神は全能であるためにその必要がありません。イエスが手助けを必要としたのであれば、彼は神ではないことになります。

12. またバイブルは、イエスが自分ではなく神の御心を果たしたいと言ったと述べています。

ルカ22: 42 “私の意ではなく、あなたの御心の通りにしてください。”

ヨハネ5: 30

“私は自身の望むことを求めません。私を遣わした御方の御心を求めるからです。”

ヨハネ6: 38

“私が天から下って来たのは、自分の望みを行なうためではなく、私を遣わした御方の御心を行なうためです。”

三位一体を成するある一は、他の者よりも低い地位にあるのでしょうか？ それらにはの意志（“

私は自身の望むことを求めません”）があるにもかかわらず、他者の命令（“私を遣わした御方の御心を求めるからです”）には条件にうのでしょうか？ イエスは自らの意志を属したものであると認めますが、三位一体の教によれば、それらすべては同一の意志を持つと述べられているのです。三位一体の内のある一は、それを成する他の者のために自分の意志を差し控えなければならないのでしょうか？ それらはすべて同じ意志を持たなければならないようになっているのでしょうか？

13. またバイブルは、イエスが神の言は彼のものとはであると示したと述べています。

イエスは彼と神はふたつであるとし、“ひとつ”であるとはしなかったのです。

ヨハネ8: 17 18

“私が自分の人であり、また、私を遣わした父が、私について言われます。”

ヨハネ14： 1

“あなたがたは心を がしてはなりません。神を信じ、また私を信じなさい。”

もしもイエスが神だったのであれば、彼は神の 言と自分自身のそれを にはしなかった
でしょう。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/34>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。